



こころ

芳賀町立芳賀東小学校



No.6 令和6年9月3日

子どもたちの成長が楽しみな2学期

夏休みが終わり、昨日から2学期が始まりました。夏休み前半はパリオリンピックで盛り上がり、先週からはパラリンピックも始まり、アスリートたちの活躍に感激しました。始業式では、オリンピックの選手のエピソードから「目標に向かって努力をし続けることの大切さ」について話しました。子どもたち一人一人が目指す「なりたい自分」に向かってもっている力を思う存分発揮してほしいと思います。



登校の様子



2学期始業式の様子

さて、子どもたちに夏休みの話を聞いてみますと、いろいろな経験をしてきたようです。なかでも、地域のお祭り等に参加していろいろな方々とふれあったことは、教育目標である「ふるさとをおもう子」の育成のためにも貴重な経験だったようです。(裏面に記載)私もいくつかのお祭りに参加させていただきましたが、普段の学校生活だけでは培うことのできない様子があちらこちらで見られとてもうれしく思いました。このことは、普段の生活や 家族や友人・地域の方々とふれあう中で、子どもたちの心の中に「自分のこととして考える力」、「当事者意識」が育ってきているのだと強く感じることでした。子どもたちの周りにいる保護者の皆様をはじめ、子どもたちに見せる

大人の姿がお手本となり、あるべき姿や大切な社会性が脈々と受け継がれていっているのだと思います。

2学期の学校生活は、学力を高め深めていくことはもちろんのこと、行事を通して主体的な学びや考え方を身に付ける時期でもあります。運動会、6年修学旅行、1～5年遠足、持久走大会、各学年の体験活動などを通して、子どもたちが自分たちでチャレンジしたり、自分たちで何かを創り上げたりしていくことが「当事者意識」を育み、ひいては主体的な学びを身に付け、責任感も育っていくのではないかと考えています。

学校は、失敗を重ねながら成功体験を学ぶ場でもあります。子どもたちの心の中に、「失敗を恐れて責任を負いたくなかったり」、「周りの友達の目が気になったり」、「だれかがやってくれるだろうと後ろに下がったり」などの気持ちがあるときに、私たち教員は、そこに気づいて踏み出せる手立てをとれる大人でありたいと思っています。また、お子様の当事者意識を育てるために、日々の生活の中で「自分で考えて行動する」ことを大切にしていきたいと思えます。ご家庭でも、「自分でできることは何か？」を問いかけながら、子どもたちの自主性を伸ばすお手伝いをしていただけると幸いです。

2学期も、合言葉「友達と仲よく遊び 助け合い あいさついっぱい」の芳賀東小学校を目指して取り組みます。保護者の皆様・地域の皆様、家庭ぐるみ・地域ぐるみでのご理解・ご協力をお願いいたします。子どもたちの成長が楽しみな2学期です。



教室の様子

新任職員紹介

9月より特別支援教育補助員として、飯塚宏一先生が着任しました。主に3組の支援を行います。よろしくお願ひします。



各地区の夏祭り等に参加

夏休み中は、各地区で夏祭り等が行われ、多くの子どもたちが地域の一員として参加していました。参加した子どもたちは、地

域のお祭りを楽しむとともに、地域の伝統文化を大切にしていきたいという気持ちをもつことができました。このように地域の行事に参加することは、地域の伝統文化継承のみならず、子どもたち1人1人のコミュニケーション能力の育成にもつながります。夏休みの研修で「良い地域に良い学校がある」という話を聞きました。各地区でこのような活動があり、子どもたちが楽しいんで参加しているということは本当に素晴らしい地域です。芳賀東小学校は、これからもふるさと芳賀町が大好きな子どもたちの育成を目指し、「地域とともに歩む学校」を推進していきます。



祖母井祇園祭 (7月20、21日)

祖母井地区上横町、西町、内町、代町の子どもたちが山車引きや神輿担ぎをしました。



延生地蔵尊盆踊り (8月23日)

郷土芸能クラブの希望者が参加して夕方6時からの幼稚園生の盆踊りでは、お囃子を演奏しました。7時からは多くの子どもたちが盆踊りを踊りました。



稲毛田八雲神社祇園祭 (8月3日)

郷土芸能クラブの希望者が太々神楽を舞いました。



与能観音まち縁日 (8月17日)

郷土芸能クラブの希望者がお囃子を演奏しました。

